

平成27年度における大学図書館の概要

図書館活動業

・ラーニングコモンズの円滑な運営

平成27年度の大学図書館のスローガン（モットー）は「多様な学生に寄り添い、居心地のいい図書館を実現する」と定め、同時にその主要課題として、①ラーニングコモンズの円滑な運営（学修支援プログラム実施の充実・強化）、②私大図書館協会西地区部会研究会開催を成功させる、③狭隘化対策（重複本・返研処理等）、④環境美化（サイン計画・棚の見出し等）、⑤図書館利用者数、貸出冊数の増加を設定し、実行してきた。また、上記ラーニングコモンズで行った学修支援プログラムと併行して、学術情報資源が劇的に増大し複雑化するなかで、利用者が目的の情報を探索することを容易にするため、個々の利用者の求めに応じて<レポ探>サービス（個人向け学習支援プログラム）を随時実施し、利用者サービス機能を昨年度以上に強化した。4月以降、今年度の主要課題の筆頭に掲げた「学修支援プログラム実施の充実・強化」を中心に全員（5月以降1名が療養・休職となったが）が一丸となって業務を推進してきた。昨年度の基礎的なプログラムの充実、努力の甲斐もあって以下のような大きな変化が生じてきた。例えば、学生利用者の増加（昨年度の増加をさらに越える11万人を3月上旬に達成）によるカウンター対応業務の増加、タブレット貸出業務の増加、i サークルでのコピー用紙・トナーの頻繁な補充業務、視聴覚資料利用者の激増による業務の増加、3階グループワーク室の利用者受付業務、教員・学生の資料検索に伴うレファレンス業務の増加などなど、質・量とも的大幅増加により、カウンター業務の様相そのものが、従来と比べて大きく異なってきた。そのため、職員のカウンター業務に傾注する時間が大幅に増大し、ローテーションによる担当だけでは対応しきれず、頻繁にそのサポートにあたるという嬉しい悲鳴の続く毎日となってきている。

・私立大学図書館協会西地区部会研究会の会場当番校として

平成27年度の図書館活動で特筆すべきことは、私立大学図書館協会西地区部会研究会が、本学星が丘キャンパスを舞台に行なわれ、西日本の私立大学図書館関係者160名余りが一堂に会し、盛会のうちに無事終えることができたことである。南は沖縄県から北は金沢までの100校から参加者があり、元東京大学、現慶応義塾大学の根本彰先生の基調講演と各地区から推薦の4つの研究発表で、大変有意義な研究会となった。本学でのこの研究会について、「歴代の研究会においてトップ3に入るほどの盛会であった」という嬉しい評価もいただいた。

それ以外の具体的な活動は以下の通りである。

① 図書資料の収集・整備

本学図書館において、平成27年度の受入を行った結果、累積所蔵数は、図書448,530冊、雑誌2,496種となった。その詳細は、下記蔵書数のとおりである。

※ 蔵書数（平成28年3月31日現在）

ア 図書（累計所蔵冊数）※研究室保管図書含む

区分	和書	洋書	計
中央図書館	284,219冊	79,111冊	363,330冊
日進図書館	68,124冊	17,076冊	85,200冊
計	352,343冊	96,187冊	448,530冊

イ 学術雑誌（累計所蔵種数）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	1,482種	676種	2,158種
日進図書館	184種	154種	338種
計	1,666種	830種	2,496種

ウ 年間図書資料受入数（製本雑誌、寄贈図書、移管受入図書を含み、廃棄資料は含まない）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	4,325冊	255冊	4,580冊
日進図書館	1,025冊	144冊	1,169冊
計	5,350冊	399冊	5,749冊

エ 視聴覚資料（カッコ内は除籍点数）

区 分	平成27年度受入数	計
中央図書館	341（28）点	19,317点
日進図書館	118（0）点	3,349点
計	459（28）点	22,666点

③学術機関リポジトリの構築

平成27年4月～28年2月末日まで年間のダウンロード数は285,737件、公開当初からの累積ダウンロード数は1,166,387件。社会的な関心の高さが顕著に現れている。今年度は昨年度同様博士論文の公開を開始した。さらに、本学教員による学協会誌掲載の論文の本学機関リポジトリへの掲載を実施した。次年度以降も公開本数のさらなる増加につとめていくことになっている。

④図書館活性化事業

平成24年度より開始した図書館活性化事業のうちの一つであるライブラリーサポーター（学生）による選書ツアー（書店とのコラボ）を本年度も2回実施した。

平成27年度は、新メンバーを迎え、図書館サポーター（Libra Leave：リブラリーブ）によって新たな活動を開始した。今年度はプロジェクト形式を取り、メンバーそれぞれがやりたいことを提案し、最終的には4つのプロジェクトを企画・実施した。4つのプロジェクトは、①フリーペーパー ②スタンプラリー ③ロゴマーク ④館内展示である。また、メンバー構成は、学年も学科もバラバラながら、それぞれのチームごとにミーティングやSNS上で対話を繰り返し、少しずつ企画を具体的な成果物へと変化させてきた。①フリーペーパーは、「POB」という広報誌で、図書館のさまざまな魅力を発信中、②スタンプラリーは、10月1日～12月25日までにスタンプラリー形式で読書活動を推進する読書ラリーを展開し、参加者も70名にのぼった。③ロゴマークは、コンセプトを創り、素敵なオリジナルロゴマークを完成。④館内展示は、展示テーマのコンセプト作りから、展示する本の選書、POPを作成し、定期的に、そして効果的な本の展示で学生を惹きつけた。今年度のプロジェクト形式は、学年学科を越え学生同士が話し合い、企画を立て、それを形にして発信するという、まさにアクティブラーニングそのものである。さらに、初めての仲間と協力し、時にはぶつかりながらも助け合い、主体的・能動的に取り組みを続け、自分達の企画をチームで実現することで、社会人基礎力として必要な、コミュニケーション能力や発想力・思考力・表現力などを育成する活動でもある。来年度は、今年度の成果をさらに発展し、リブラリーブ全員での企画も実現できるよう、サポートしていきたい。

⑤地域開放その他

平成26年度に絵本等資料を充実した2階「絵本コーナー」には、昨年度と同様、口コミで知った近隣一般女性が、児童を伴って来館される姿を頻りに垣間見られた。そのみならず、一般女性の利用は、新規登録者が46名、入館者数は605名で2.2倍増、館外貸出冊数は818冊（昨年度539冊）と順調に増加し、着実な広がりを見せてきている。

⑥管理その他

図書館の管理運営については、その必要事項を審議するために、図書館長の下に各学部選出の委員で構成する図書館運営委員会を設置、図書館運営上の重要事項を審議している。2013（平成25）年10月の図書館運営委員会において2014（平成26）年度以降「環境整備費」枠の設置が制度的に決定（各学部図書館備付費の25%を充当）された。図書館運営委員会においてラーニングコモンズの中・長期的環境整備計画〔案〕を立案し、日進図書館を含めた図書館の学修環境のさらなる改善を、継続して実施していくことになっている。平成27年度は、第一期、第二期改修工事に引き続き、残る階段・床カーペット貼り等の改修を実施した。

利用者サービス状況

区分			中央図書館		日進図書館	
			平成 27 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
開館日数			286	282	290	288
入館者数			111,568	103,025	30,436	29,801
貸出冊数			46,650	45,190	12,513	11,925
相互協力	文献複写	依頼件数	938	1,144	199	139
		受付件数	1,201	1,136	247	221
	閲覧	依頼件数	2	5	4	2
		受付件数	70	40	12	9
	現物貸借	借用	22	49	21	26
		貸出	16	37	3	3